

5  
27-29 旧吉松家で陶器市



さまざまな陶器の中から品定めをする買い物客

九州内の陶芸家らによる陶器市「第15回九州窯元行列in串間」が旧吉松家住宅、仲町商店街および道の駅「くしま」で行われました。中心市街地を盛り上げようと串間商工会議所青年部が主催で3年ぶりに開催。会場には皿やコップなど約1万点の色とりどりの陶器が並び、訪れた多くの買い物客がお気に入りの品を買い求めていました。初めて友人と訪れた宮崎市在住の木村さおりさんは「趣のある旧吉松家住宅でたくさんの陶器を見られて楽しかった。また来たい」と笑顔で話していました。

6  
3 MRTと包括連携協定を締結

株式会社宮崎放送(MRT)と本市は包括連携協定を締結しました。式には、株式会社宮崎放送代表取締役の牧蔵社長と市長らが出席。地域の暮らしや、安心安全、教育、スポーツ活動、SDGsの取り組みの推進などの5項目について、連携して情報発信などを通じ、地域活性化へつなげます。牧社長は「今回の締結により市民の身の安全のほかにも、メディアが得意とする子どもたちがいきいきと学習できる機会も作っていききたい。串間市とMRTがますます発展するよう頑張りたい」と話していました。



同社の牧蔵社長(右)



寄り添い授乳するサル親子

6  
9 幸島に野生サルの赤ちゃん誕生

国の天然記念物に指定されている市木地区の幸島に生息する「ニホンザル」が出産シーズンを迎えています。京都大学野生動物研究センターの鈴木崇文さんが5月31日に1匹目を確認。今後は10頭前後が出産予定です。9日には、赤ちゃんは元気よくお母さんの乳を飲んだり、しがみついて一緒に移動したりなど元気のある姿を見せていました。鈴木さんは「今年は妊娠しているサルが多いので期待している」と話していました。

5  
6 大東保育園児らが交通安全について学ぶ

大東中央保育園は交通安全教室を行いました。園児と同園の学童保育を利用する大東小学校の児童ら計50人が参加。講師の串間警察署員と串間地区交通安全協会の交通指導員から、身近な交通ルールなどについて学びました。前半は園児、児童の2班に分かれ、串間署員が交通ルールを説明。園児は横断歩道の正しい渡り方、児童は自転車の乗り方を学びました。後半は、交通指導員による同園から大東小学校間の事故が起きやすい場所の説明があり、園児らは危険な場所について理解を深めていました。年長児の中富貴太くんは「手を上げて右左をしっかり見て、気を付けて横断歩道を渡るようにしたい」と話していました。



横断歩道を渡る練習をする園児

5  
11 自衛官入隊者増へ「自衛官募集相談員」の委嘱状交付



委嘱を受けた安藤さん(左から2番目)、須見さん(中央)、深江さん(右から2番目)

本市と自衛隊宮崎地方協力本部は、自衛官志願者の相談受け付けなどを行う「自衛官募集相談員」の委嘱状交付式を市役所で行いました。委嘱を受けたのは、市内在住の須見恵さん、深江新一さん、安藤幸男さんの3名。相談員は自衛官への志願を検討している学生などからの相談対応や志願者に関する情報の提供、募集に関する広報活動の協力などを行います。委嘱期間は2年間です。交付式は委嘱者、市長、同本部の石原信也本部長が出席。市長から各委嘱者に委嘱状を交付しました。深江さんは「少しでも自衛官志願者が増えるよう役に立ちたい」と話していました。

5  
18 市木地区地域連携組織「絆の里いちき」発足

市木地区の地域連携組織「絆の里いちき」が発足し、市木公民館で設立総会を行いました。組織委員や市社会福祉協議会の職員ら約30人が出席。「地域みんなが幸せで豊かな生活を送れるまち」をスローガンに、防災訓練や日頃から住民同士で助け合える仕組みづくり、さまざまな世代が集える居場所づくりなどに取り組むことなどを確認しました。同組織の長野秀明会長は「力を合わせてできることから行っていき、地区の発展を目指していきたい」と話していました。



説明する長野会長